隊員と家族をつなぐ 家族会ほっとライン

会員以外の家族（保護者の方や配偶者の方からなど）からの相談にも対応しています。

現在、毎月、数件の問い合わせに対応していますが、その中には、どこに悩みを相談していいか分からず、ネットで検索して、お電話を致しましたと打ち明ける方がいらっしゃいます。

このため、今月号では、防衛省自衛隊の悩み相談の窓口について、特集で解説します。

悩み相談の問い合わせ先

（公社）自衛隊家族会は「おやばと」紙面でもご紹介しているように「相談の問い合わせ窓口」を設け、家族会員の相談のみならず、

このホットラインとは「防衛省パワハラホットライン」および「防衛省・セクハラ・マタハラホットライン」で、共に「人事教育局服務管理官付」には、隊員からの相談に対応するホットラインを設置しています。

その相談件数は、2016年度の創設当初、年間109件であったところ、2022年度が1397件と増加傾向にある」との記載がありました。

メールでの相談も可能である。ただし、メール相談には利害や限界もあるので、必要に応じ電話相談に切り替えるようお願いしている。

共済組合の事業なので、隊員に扶養されている家族も利用できる。心や体の相談は勿論のこと、職場のこと、家族のこと、人間関係のこと、借金のこと、上司からの部下への対応要領など、何でも相談してくれてかまわない」と紹介されています。

防衛省・自衛隊の相談窓口について

防衛省全体の相談窓口

令和5年版防衛白書では「人事教育局服務管理官付には、隊員からの相談に対応するホットラインを設置としています。

基盤」には「ハラスメント防止の推進・相談窓口」とともに「メンタルヘルス・相談窓口」があり、こちらへの相談は、隊員および隊員の家族が利用できます。

その内容は、抑うつなどで体調の不調を感じている隊員およびその家族となります。

相談先としては、防衛省共済組合が契約し、部外のカウンセラーなどに電話相談ができる「あなたのさぽーと」（二次元コード①）の相談窓口で、相談の対応は、部外者のカウンセラーなどで、相談者は基本的に自衛隊員などの被害者もしくは、それを目撃した自衛隊員となっています（防衛省のウェブサイト→防衛省について→組織を支える人的基盤）。

この「組織を支える人的

○心の悩み

「あなたのサポートダイヤル」

○職場や家族の人間関係がうまくいかないetc

○医療相談

「メディカルアシスト」

・がん専用相談

・緊急医療相談

○健康・介護・暮らしの相談

「生活サポートサービス」

・健康、介護相談

・子育て相談

・暮らしのトラブルetc

に相談できるようになっています。

なお、いずれの問い合わせにおいても「パスワード」の入力が必要です。

なお、このパスワードについては、自衛隊員の方には、知らされています。

航空自衛隊

航空自衛隊のウェブサイト→隊員ご家族のための情報」の項目があり、その中で「われわれの任務は、隊員の努力はもとより、それを支えるご家族のご理解とご協力があってこそ遂行できるものです。

航空自衛隊は、隊員が各任務に従事する場合、長期間不在となるために留守を託されたご家族の不安や負担を少しでも和らげるために平素から家族支援に関する取り組みを行っております。

隊員家族の皆さまには、家族支援に関するさまざまな施策を通じて自衛隊の任務や使命、私たちの仕事について理解を深めていただきたいと思っております。

また、隊員の処遇や福利厚生制度、各地域の情報についても掲載していきますので、日々の生活にお役立てください」として「困った時の相談窓口（二次元コード②）」の項目があり「防衛省共済組合では組合員（隊員）および被扶養者（ご家族）が抱えるさまざまな悩み・心配事を解消または軽減するための相談事業を行っていま

海上自衛隊

海上自衛隊のウェブサイトには「隊員ご家族のみなさまへ」の項目があり、その中の「家族のしおり」に入ると「この家族のしおりは、隊員の努力はもとより、それを支えるご家族のご理解とご協力があってこそ遂行できるものです。

また忘れてならないのは、退官した隊員の再就職に奔走している援護担当の方々の、目に見えない陰の努力に他なりません。

こうした方々の姿を見るにつけ、一部の関係者しか使っていないのではないかと感じます。利用者の立場に立って再考してください。

これらのほか、無駄と思われる点について総点検を実施することを望みます。

その結果として、毎年本部に納める会費の減額につながることを期待します。

また、本部の総会において全国から多くの人を集めて資料の読み上げをするのは時間の無駄であり、質疑応答に多くの時間を割けない現状は時代に合っていないと思います。

以上、よろしくお願いいたします。

名自衛隊の相談窓口

陸上自衛隊

陸上自衛隊のウェブサイトには「困った時の相談窓口（二次元コード②）」の項目があり「防衛省共済組合の事業なので、隊員の家族が利用できます。

その内容は、抑うつなどで体調の不調を感じている隊員およびその家族となります。

相談先としては、防衛省共済組合が契約し、部外のカウンセラーなどに電話相談ができる「あなたのさぽーとダイヤル」があります。

「あなたのさぽーとダイヤル」での相談にはパスワードが必要ですが、自衛隊員の方には、このパスワードはあらかじめ知らされています。

離婚の相談や、子供さんの教育問題などの相談もこの「あなたのさぽーとダイヤル」で対応しています。

防衛省のウェブサイトでは「フリーダイヤルで、何回相談しても無料である。

幹部候補生と登山走をする陸幕長（中央）

前川原（福岡県）

陸幕長とともに高良山登山走を実施
幹部候補生学校の士気を高揚

陸上自衛隊幹部候補生学校（学校長・吉川徳等（のりひと）陸将補）は5月27日、幹部候補生学校の開校70周年を記念して森下泰臣陸上幕僚長とともに高良山登山走を実施しました。

当日の天候は雨。時折強い雨が降りつける中、当初吉川学校長の案内の下、森下陸幕長がスタート。その後1個候補生隊約240人が追いかけるように激走しました。

森下陸幕長は、幹部候補生学校から高良大社までの距離5・6㎞、標高差156㍍のコースを候補生時代の思い出をたどりながら完走したのち、後続の候補生たちを大きな声で激励し、幹部候補生学校の士気を高揚しました。

定期総会・記念講演・懇親会を開催

兵庫

兵庫県自衛隊家族会定期総会を開催
懇親会は貴重な意見交換の場に

6月9日、兵庫県自衛隊家族会はホテル北野プラザ六甲荘で、定期総会・記念講演・懇親会を約50人の参加者の下、開催しました。

開会に先立ち、自民党の大串正樹衆議院議員が臨席し、ご祝辞をいただきました。総会では、令和5年度の事業報告、収支報告、役員改選について審議が行われ、すべて理事会で承認されました。

続いて、高木新会長が選任され、令和6年度の事業計画および予算計画も理事会で承認されました。

特に「家族支援活動協定書締結」の内容と進捗状況について、詳細な説明が行われました。

次に、陸上自衛隊第3師団長の佐藤真陸将が「我が国防衛の現状と能登半島地震への対応」をテーマに講演しました。

佐藤師団長は、沖縄諸島の防衛力強化を例に挙げながら、緊張感が高まる防衛問題についてわかりやすく説明されました。

最後に行われた懇親会では、佐藤第3師団長、海上自衛隊阪神基地隊司令の黒田全彦1等海佐、兵庫地方協力本部の皆さんや来会議員の方々が出席し、短い時間ながらも充実した意見交換の場となりました。兵庫県自衛隊家族会の活動にご理解とご支援をいただき、引き続きご協力をお願いいたします。

（兵庫県自衛隊家族会　会長　高木　清志）

倉敷（岡山県）

県会長を招き、総会・懇親会で会員相互の親睦を図る

倉敷中央地区会（片山輝男地区長）は6月16日、山本岡山県会長および池田倉敷地域事務所長並びに米田広報官を招き、総会・懇親会を開催しました。

総会では事業・会計報告に加え新規事業も審議し、会員の賛同を得ました。

その後、元日に発生した能登半島地震に関わる自衛隊の災害派遣活動について紹介しました。

これは、自衛隊の災害派遣活動の実態を正しく知っていただき、この組織の一員であるご子息・ご息女の近況紹介では初めて聞く内容に驚いたり、あるいは共通の話題で心を和ませたりと、会員相互の親睦を図ることができました。

家族会で結ばれた関係をこれからも大切にしていきたいと思います。

（倉敷中央地区会　地区長　片山　輝男）

総会で災害派遣活動について説明

パリ2024大会内定者② 自衛隊体育学校 3人が内定

パリ2024オリンピック競技大会に自衛隊から既に出場手を紹介します。内容は、階級、氏名、出身地、参加種目、主要大会の内定を獲得している選手（女子）

2等海曹 佐藤（さとう） 大宗（ひろむね）

・青森県出身

・種別・近代五種（男子）

・主要大会成果（競技名）

R4

○ワールドカップ・ファイナル 4位

R5

○アジア競技大会 4位

R6

○ワールドカップ第2戦 6位

◇◇

3等陸曹 内田（うちだ） 美咲（みさき）

・埼玉県出身

・種別・近代五種（女子）

・主要大会成果（競技名）

R4

○全日本選手権 優勝

○ワールドカップ・ファイナル 4位

R5

○アジア競技大会 4位

◇◇

3等陸曹 梶木（かじき） 真凜（まりん）

・福岡県出身

・種別・7人制ラグビー（女子）

・主要大会成果（競技名）

R3

○東京五輪 日本代表

R6

○ワールドセブンス 日本代表

自衛隊体育学校からのパリ大会参加選手出場歴

◇柔道

新添左季選手 7月31日

◇女子7人制ラグビー

梶木真凜選手 7月28日

◇近代五種

佐藤大宗選手 8月8日

内田美咲選手 8月8日

◇レスリング

高谷大地選手 8月9日

石黒隼士選手 8月8日

◇オープンウォータースイミング女子10㎞

鈴木優梨選手 8月8日

（日付は最初に出場する日）

おやばと

6月の定期総会後の意見交換会において、ある県会長から「現在はSNS時代、紙媒体のおやばとと新聞はやめてSNS対応にしてはどうかとの会員の声がある」とのご意見をいただきました。私は次のようにお答えしました。同じような考えを持つ会員の方も多いと思いますが、ぜひご理解をいただきたく存じます。

公益事業としてのおやばと

おやばと新聞の創刊は、昭和53（1978）年5月10日です。当時は、社団法人全国自衛隊父兄会の時代です。「おやばと」の名前は、創刊にあわせて命名されています。

現在、おやばとは（公社）自衛隊家族会の公益目的事業の一つとして発刊しています。このため「会報」ではなく「防衛情報紙」となっています。平成21年の「公益社団法人」への移行申請時、内閣府より「おやばとは、父兄会事業の広報媒体であって、内容は会員に対する実施報告的紹介事項がかなり見られ、一般国民への防衛理解の向上に資するべき公益性としての立証性に難しい面がある」とされ、紙面改革が求められました。

おやばとの改革は、平成22年度から開始され、それまでのタブロイド版の紙面から、一般新聞で用いられているブランケット版に変更するとともに、紙面の内容を自衛隊の活動を紹介するものに増やしました。

また、内閣府からの「現在の配布状況は、父兄会費用が主体であって、公益になっているとは言えない」との指摘を踏まえ「ウェブサイト・おやばと」を開設しました。また、自治体のご理解をいただき、その窓口などにも設置しています。

紙媒体の必要性

ウェブサイトは、読者が検索して記事を読むことから、読者の関心のある記事が閲覧の主体になると思っています。一方、国民の防衛意識の普及・高揚の観点からは、今まで関心の低かった方々にも興味を持っていただくために、手に取り、目を通してもらうことが、必要だと思っています。

このため本部からそのための部数を各県に無料でお送りしています。この際、その無料配布数では足りないと、県家族会で購入し、不足数を補っていただいている県もあります。

また、自衛隊家族会が、自衛隊を支えるとの観点から、防衛省・自衛隊の各部隊等にも無料で配布しています。自衛隊家族会が、自衛隊を支えるさまざまな活動を行っていることを知ってもらうことは、自衛隊員の方々の士気高揚にもつながっていると思っています。

このように、おやばとは、会員のためだけの情報紙ではないことから、どうしても無料配布を継続する必要があり、そのための費用が必要となります。そしてその費用の主体は、全国の会員の皆さまからの賜読費用となっています。

おわりに

以上のように、会員の皆さまの賜読によって自衛隊家族会の公益目的事業が成り立っているのですが、その会員の皆さまが賜読したいとの紙面づくりが、おやばと事業において重要なことは言うまでもありません。魅力ある紙面づくりに引き続き努めますので「おやばと新聞」へのご理解を宜しくお願い致します。

（おやばと編集委員長）

「てんりゅう」を家族会として研修

訓練支援艦「てんりゅう」を研修
5年ぶりに寄港した自衛隊艦艇に長蛇の列

境港（鳥取県）

5月11日、境港市防災訓練の一環である「みなとで学ぼー（防）DAY2024」と題したイベントに海上自衛隊訓練支援艦「てんりゅう」（呉基地所属艦長・新保洋平2等海佐）が寄港しました。鳥取県境港市自衛隊家族会（山口晴彦会長）は「てんりゅう」の艦艇広報の一般公開日に、家族会として研修を行いました。

25度を超える夏日の中、5年ぶりに寄港した自衛隊の艦艇に子供を帯同した家族の長蛇の列ができていました。

岸保湾を望む「みなとターミナル」に2450㌧の「てんりゅう」は、命名の元になっている「天竜映」のように大きな存在感があり驚きました。展示されている航空標的機や62口径76ミリ速射砲の説明を受けた後、装甲機動車、消防車、パトカーなどの展示がありました。どの乗り物も人気があり、見学者の多さから判断して、海上自衛隊の「てんりゅう」の人気は特にすごかったように思いました。

後で分かったことですが、会場には1万人以上の人が訪れたそうです。

家族会も会員の交流と防衛意識が向上し、有意義な研修となりました。

（境港市自衛隊家族会　副会長　宮田　喜彦）

「てんりゅう」を家族会として研修

（公社）自衛隊家族会
募集協力強調期間　今月より開始

家族会長奮闘戦記 86

香川県自衛隊家族会
副会長　秋山　有希子

香川県の現状と家族会本部への要望

香川県の現状

わが香川県自衛隊家族会は、県内に10の地区会があり、全県の会員数は前年度より若干減り会員数は約900人です。

近年は、定年退官者や退職する任期制隊員の自衛隊家族会員の退会数が増える一方で、新入隊員数の減少が重なり、今後の会員数は減少傾向を辿っていくことは否めないと思います。

このため、関係各方面のご協力を仰ぎながら、香川県自衛隊家族会では「入隊入校イコール家族会入会」を原則として取り組むことにしています。

家族会本部への要望

現在、働き方改革の真っ只中にあり、限られた予算をいかに有効に活用するかが問われる時代です。以下の点について、七ヵ条での検討を望みます。

以上、よろしくお願いいたします。

部数

本当に読みたい人や知りたい人はネットで閲覧しています。現在の発行部数が適切かどうか、無駄がないか再考してください。

・ディフェンスワールドの配布

各県に何百冊と配布されていますが、その意義は果たされているのでしょうか？　一部の関係者しか使っていないのではないかと感じます。利用者の立場に立って再考してください。

これらのほか、無駄と思われる点について総点検を実施することを望みます。

その結果として、毎年本部に納める会費の減額につながることを期待します。

また、本部の総会において全国から多くの人を集めて資料の読み上げをするのは時間の無駄であり、質疑応答に多くの時間を割けない現状は時代に合っていないと思います。

以上、よろしくお願いいたします。

その結果、新入隊員ご家族の家族会への入会率は高く、新たな顔ぶれの参加が会の活性化につながっています。

また、地区単位や県全体で、普段から交流の機会を増やしてきたこともあり、退官者の、各種会合やイベントの参加率も高いというありがたい状況を生んでいます。

さらには女性の地区長や役員が増えてきたことも、こうした活性化の一因といえるかもしれません。

広報官こそ「自衛官」の生みの親

このような香川県の現状を支え、その中心的な役割を担っているのが香川地方協力本部広報官です。

本来の募集活動に日々奮闘していることはもちろん、入隊入校予定者に対する懇切丁寧な応対、われわれ家族会をはじめ一般社会との接点・窓口の役割など、まさに頭の下がる思いを抱きます。

また忘れてならないのは、退官した隊員の再就職に奔走している援護担当の方々の、目に見えない陰の努力に他なりません。

こうした方々の姿を見るにつけ、一部の関係者しか使っていないのではないかと感じます。利用者の立場に立って再考してください。

これらのほか、無駄と思われる点について総点検を実施することを望みます。

その結果として、毎年本部に納める会費の減額につながることを期待します。

また、本部の総会において全国から多くの人を集めて資料の読み上げをするのは時間の無駄であり、質疑応答に多くの時間を割けない現状は時代に合っていないと思います。

以上、よろしくお願いいたします。

編集後記

▽1面、（公社）自衛隊家族会は総会・理事会・意見交換会を実施しました。特に、意見交換会では、各所で活発な意見交換・交流が見られました。▽3面、荒木淳一理事の「岸田総理の公式訪米の意義と評価」です。日米同盟の将来と課題について掲載。ご精読ください。